

群馬の畜産 みんなの情報室



発行：公益社団法人 群馬県畜産協会

〒379-2147 前橋市亀里町1310 群馬県JAビル3階/TEL：027-220-2371（代）FAX：027-220-2372

ホームページ：http://www.chikusankyokai.or.jp

1page	理事会の開催 (令和2年度事業計画、収支予算)	9page	調教研修報告会を開催しました 畜産海外事情研修(EU3か国)に参加して①
7page	馬飼養衛生基礎技術実習を開催しました	11page	イベント情報
8page	家畜防疫・衛生指導対策事業にかかる海外の 認証制度の活用状況調査について	12page	価格安定事業の状況 南関東4競馬場開催日程

理事会が開催されました

令和2年3月13日(金)群馬県JAビルに於いて、本会理事会が開催され、令和2年度事業計画等について協議されました。決議事項、報告事項は次のとおりです。

【決議事項】

- 第1号議案 令和2年度事業計画及び収支予算の承認について
- 第2号議案 肉用子牛生産者補給金業務規程の一部改正について
- 第3号議案 職員給与規程の一部改正について
- 第4号議案 期間契約職員就業規則の一部改正について
- 第5号議案 重要な使用人の選任について

【報告事項】

- (1) 職務執行状況について
- (2) 正会員の退会について

令和2年度事業計画

1. 基本方針

令和2年1月1日に米国との間で貿易協定が発効され、セーフガード付きであるものの牛肉豚肉ともにTPP11と同内容で関税削減がおこなわれました。これにより国内市場への海外輸入畜産物の増加懸念が現実的になり畜産農家のさらなる経営努力が求められることが懸念されます。また、一昨年9月に国内で発生した豚熱(CSF)は、野生イノシシへの感染拡大とともに今も発生が引き続いており、本県においても野生イノシシから、CSFウイルスが検出され、以降20頭のイノシシで陽性が確認されました。幸いにも県内養豚場での感染は確認されていませんが、養豚農家の不安は解消されるに至っていません。このように海外悪性伝染病の侵入リスクが高まっていることから、畜産農家、行政、関係団体等が一体となった飼養衛生管理の徹底による更なる防疫体制の強化が継続して必要となっています。

これらの状況を踏まえ、本年度も畜産農家、関係機関、団体との連携を密に取りながら、引き続き安全で良質な畜産物を消費者に提供する畜産業の使命を確固たるものに導くこととします。

また、今後の国際化にも対応する畜産経営を確立するため、国、県、中央団体等の実施する経営支援、価格安定対策等の補助事業、助成事業、受託事業等を積極的に活用するとともに、各種ニーズに応えるための自主事業を実施する等により畜産農家を強力に支援していきます。さらに、畜産物の安全安心を確保するため、家畜や農場の衛生対策および家畜の生産性向上対策、畜産への理解醸成など幅広い事業に取り組むこととします。

また、これまでに継続してきた事務の合理化や経費抑制についても引き続き実施していきます。

なお、本計画にない新規取り組みについては、本会の事業目的に合致するものや、社会的情勢の変化などにより喫緊の対応が求められる場合については、事業計画に支障のない範囲において取り組むことといたします。

2. 事業計画

【公益事業1】畜産経営の安定向上を支援し安全で良質な畜産物の生産を促進する事業

(1) 畜産経営の安定を支援する事業

ア 肉用子牛の生産の安定に関する支援

肉用牛肥育経営への子牛の安定供給を進め、国産牛肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、当協会と補給金の交付契約を締結した肉用牛繁殖経営者に対し、子牛の販売価格が国の定める基準価格を下回った場合に、その差額を補給金として交付します。

実施予定事業：肉用子牛生産者補給金制度 1事業

事業名	種別	事業内容
肉用子牛生産者補給金制度	補助	販売又は自家保留された肉用子牛に対し、四半期ごとの平均売買価格が保証基準価格を下回った場合に差額の全額を、また平均売買価格が合理化目標価格を下回った場合、差額の9/10を補給金として交付する。 肉用子牛生産者補給金制度の運営体制を維持するために必要な事務を実施する。

イ 肉用牛肥育経営の安定に関する支援

肉用牛肥育経営の安定を図ることにより、国産牛肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、肥育牛補てん金交付契約を締結した登録生産者に対し、独立行政法人農畜産業振興機構の調査により算出される肥育牛1頭当たりの標準的販売価格が、同じく算出される標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付します。また同制度等の事務推進を行います。

実施予定事業：肉用牛肥育経営安定交付金制度ほか 計2事業

事業名	種別	事業内容
肉用牛肥育経営安定交付金制度	受託	肉用肥育牛経営の標準的販売価格が標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付する。
価格安定推進支援事業	自主	肉用子牛生産者補給金制度、肉用牛肥育経営安定交付金制度について、円滑な運営を行うための支援を行う。

ウ 養豚経営の安定に関する支援

養豚経営の安定を図ることにより、国産豚肉の安定した生産が継続して行われることを目的に、制度に登録した登録生産者に対し、独立行政法人農畜産業振興機構の調査により算出される肉豚1頭当たりの標準的販売価格が、同じく算出される標準的生産費を下回った場合に、その差額の9割を交付金として交付する制度を推進します。

実施予定事業：肉豚経営安定交付金制度 計2事業

事業名	種別	事業内容
肉豚経営安定交付金制度	受託	農畜産業振興機構が実施する肉豚経営安定交付金制度に係る事業説明会の開催、及び事業関係者からの照会対応・連絡調整等の事務を実施する。
肉豚経営安定交付金制度推進事業(生産者事務受託)	生産者事務受託	肉豚経営安定交付金制度登録生産者からの委託により、書類の作成支援や農畜産業振興機構からの照会、問い合わせ対応等の事務を実施する。

(2) 畜産経営の向上を支援する事業

ア 地域の畜産経営への支援指導

畜産経営の高度化に必要な情報の提供や経営分析による指導、個人・法人等の多様なニーズに対応した経営指導を行います。また、既往負債の長期・低利な資金への借り換え計画作成とその計画達成のための指導、資金借入を希望する畜産経営体の経営ビジョンや経営計画作成、収益性・生産性を向上するための機械導入、畜産女性経営者の育成について支援するとともに、生産物の品質向上、生産情報管理・分析について指導します。さらに、畜産経営者の経営実績の収集、経営指導活動の成果を把握するための調査、優れた畜産経営者や畜産振興に貢献している団体等の調査を行い、その結果の周知・普及を図ります。

実施予定事業：地域畜産支援指導等体制強化事業ほか 計20事業

事業名	種別	事業内容
地域畜産支援指導等体制強化事業	補助	畜産経営の高度化に必要な情報の提供や多様なニーズに対応した経営指導、一般消費者への畜産への理解醸成のための活動を行うほか、馬事の振興等の畜産を振興するための活動を実施する。

事業名	種別	事業内容
経営流通対策事業(経営指導推進)	補助	畜産農家に対する経営改善計画、資金利用計画等の作成・達成指導、畜産経営の高度化に必要な情報の提供等による経営支援を実施する。
畜産特別資金等推進指導事業	補助	畜産特別資金借受者の経営の改善及び安定を図るため、指導推進協議会の設置、計画達成指導、経営分析による個別指導、並びに新規借受者の経営改善計画の作成指導を実施する。
畜産女性経営者の育成支援事業	助成	畜産経営に参画している女性経営者を参集し、経営を改善するための技術向上及び経営管理能力の向上に資する研修会や同業者・異業種との情報交流会を開催する。
畜産クラスター機械導入事業	受託	畜産・酪農収益力強化整備等特別対策(畜産クラスター)事業のうち、機械導入事業について、その円滑な実施を図るため、参加要望申請書の取りまとめ及び事務推進等支援を実施する。
畜産クラスター全国実態調査事業	受託	優良な経営管理技術を有する経営体の経営成果等を調査し、課題解決に取り組む経営情報として情報提供する。
畜産クラスター家畜生産性向上対策事業	受託	家畜生産性に係るデータ収集と生産性向上のためのデータ分析等を実施する。
酪農労働省力化推進施設等緊急整備対策事業	受託	労働負担軽減・省力化及び飼養管理技術の高度化を図る機械装置の導入並びに当該機械装置と一体的な施設の整備を実施する。
畜産経営体生産性向上対策事業	受託	酪農及び肉用牛経営が飼養管理技術の高度化並びに省力化に資するため、畜産ICT機器等先端技術の活用によって、一定労働時間削減を図り、もって家族経営が将来に展望の持てる経営継続への支援を実施する。
畜産関係団体調整機能強化事業	受託	生産者等からの各種相談に応じるため、経営支援および経営支援を実施するための団体運営に係る技術、知識等のスキルアップを図る。

事業名	種別	事業内容
貸付事業指導等事業	受託	畜産近代化リース協会が貸付けた機械・車両等について保守管理及び適正な使用に関する指導を実施する。
畜産高度化支援リース事業	受託	畜産高度化支援リース事業のリース物件について、その貸付申請、検収実施及び指導等を実施する。
鶏卵生産者経営安定対策事業	受託	群馬県養鶏協会会員以外を対象に鶏卵生産者経営安定対策事業の報告書類、生産者積立の状況管理、羽数確認の現地調査等の事務を行う。
畜産経営支援指導事業	自主	畜産農家に対する技術指導等を実施し経営支援を実施する。
公共牧場活性化支援事業	自主	公共牧場及び関係者を対象に、牧場管理等に関する研修会を開催する。
畜産環境保全支援事業	自主	堆肥や副資材の生産者の情報をHPに掲載するとともに、研修会を開催する。
畜産協会情報提供事業	自主	畜産農家に有用な情報等を収集し、情報誌として生産者、関係団体等に配布するとともに、本会ホームページ等を活用し広く情報提供する。
豚枝肉格付分析情報提供事業	自主	豚枝肉格付データを収集し、独自の分析を加えた情報を四半期毎に提供する。
経営セミナー事業	自主	畜産経営体に対して高度化技術等の情報を取得するための講習会等を開催する。
女子力発揮支援事業	自主	県内畜産に経営参画している女性を対象として、女子力発揮に総合的に寄与する各種勉強会を開催し、各経営者が抱える課題の抽出及びその改善を支援する。

イ 畜産経営の人材確保と労力負担の軽減に関する支援

獣医学を専攻する大学生に対し、卒業後、群馬県内で産業動物獣医師として従事することを条件に、修学のための資金を共同負担者分と合わせて貸与します。また、酪農ヘルパー利用組合が雇用等により確保している要員の確保・育成に必要な費用の一部補助、酪農従事者が病気、けが等により就業困難となってヘルパー利用が増加した場合の負担額の軽減のための互助基金の造成とその活用、ヘルパーの活動によって発生した財物の破損等を賠償する保険への加入促進と保険料の一部を補助します。さらに、経営者の高齢化等により継続が困難となる経営の第三者継承への支援、大規模化により雇用を必要としている酪農経営を含む畜産経営に対して、人材確保のための職業紹介や募集に必要な支援及び人員育成のための支援を行います。

実施予定事業：獣医師養成確保修学資金貸与事業ほか 計9事業

事業名	種別	事業内容
獣医師養成確保修学資金貸与事業	補助	群馬県内で産業動物獣医師になることを希望する獣医学生に共同負担者分と併せて修学資金を貸与する。
獣医師養成確保修学資金貸与事業	補助	群馬県内で産業動物獣医師になることを希望する獣医学生に共同負担者分と併せて修学資金を貸与する。
酪農経営安定化支援ヘルパー事業(酪農経営支援総合対策事業)[協会分]	補助	酪農ヘルパーによる経営安定化の推進を図る事業を実施する。
酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業	補助	酪農ヘルパー利用組合に加入する酪農従事者の病気等により利用された酪農ヘルパー利用料の負担を軽減するため、酪農ヘルパー互助基金を造成し、互助見舞金を交付する。
酪農ヘルパー労働環境整備事業	補助	酪農ヘルパーの出役中の事故等に備えるため賠償責任保険、並びに臨時ヘルパー傷害保険に加入する。
酪農ヘルパー事業円滑化支援事業	特別	酪農ヘルパー利用組合の運営、要員確保・育成等に必要な経費を補助する。
畜産人材確保育成事業	自主	畜産農家の雇用、新規参入、継承の促進のための相談、研修活動の一部を実施する。
畜産生産体制支援事業	自主	肉用牛ヘルパーの体制構築を推進するためのアンケート調査結果の取りまとめ・周知と体制構築希望地域への構築支援を実施する。
酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業事務費	自主	酪農ヘルパー互助見舞金の交付事務等を実施する。

(3) 家畜及び畜産物の安全性確保と理解醸成を図る事業

ア 畜産及び畜産物への理解醸成

消費者を対象にした畜産及び畜産物に関する研修会や体験交流会の開催、イベントにおける畜産物の栄養知識に関する啓発資料の作成・配布及び畜産物の無償配布、畜産堆肥の有機質肥料としての有用性に関する啓発資料の作成・配布などを通じて消費者の畜産への理解醸成及びリスクコミュニケーション確保のための活動を行います。また、畜産の振興を担う地方競馬場において冠レースを開催し、畜産への理解醸成を図ります。

実施予定事業：生産振興対策事業（県産鶏卵販売強化）ほか 計6事業

事業名	種別	事業内容
生産振興対策事業(県産鶏卵販売強化)	補助	銘柄卵の啓発資料を作成し、県産銘柄卵を含む鶏卵の消費拡大を図る。
馬事畜産振興推進事業	受託	地方競馬並びに畜産・畜産物に対する認識を深める。
地方競馬支援対策事業	自主	地方競馬の振興を図るため、競馬場において冠レースを実施する。
畜産普及啓発推進事業	自主	一般消費者を対象に、畜産への理解を深めるための資料の配布や畜産物の無償配布等を実施する。
牧場体験交流事業	自主	酪農場において、搾乳、飼料給与、畜産物加工などの体験交流を実施する。
群馬の堆肥普及事業	自主	一般消費者を対象に、畜産堆肥の有用性に関する啓発資料の配布を行う。

イ 家畜及び畜産物の安全性確保

伝達性牛海綿状脳症（BSE）に罹患した牛を確実に食肉流通から隔離することを目的に、死亡した牛の収集、輸送、検査、処理に必要な費用への補助、食肉処理場等における特定危険部位の除去確認に要する費用に対し促進費を助成します。

実施予定事業：牛疾病検査円滑化推進対策事業ほか 計2事業

事業名	種別	事業内容
牛疾病検査円滑化推進対策事業	補助	特定症状牛等の要件を満たす死亡牛のBSE検査に要する運賃、検査料を補助する。
牛せき柱適正管理推進事業促進費交付業務	受託	特定危険部位である牛せき柱の適正な管理を実施した食肉処理事業者に支払われる促進費の交付に必要な確認事務を実施する。

ウ 家畜の悪性疾病による損失対策

重要で悪性の家畜伝染病など、指定する疾病が発生した場合に、飼養する乳牛、肉牛、豚の淘汰した後、経営の再建を図ることを目的に、畜産経営者に対して事業内容の周知、事業への参加の呼びかけ、事業への参加手続等を支援します。

実施予定事業：家畜防疫互助基金支援事業 1事業

事業名	種別	事業内容
家畜防疫互助基金支援事業	補助	海外悪性伝染病が発生した場合に、淘汰した牛、豚の代替畜の導入費用の一部を生産者等が互助補償する全国的な仕組みについて、生産者等に対する普及啓発、参加手続き事務等を実施する。

エ 農場の生産衛生の強化

清浄化が難しく伝播力が強い個体経営の取り組みだけでは十分な効果が得られにくい牛豚の伝染性疾病等の発生・流行を防止して畜産物生産の安定を図ることを目的に、検査、予防接種、生産衛生の強化に必要な費用の一部を助成します。また、県内種鶏場等の衛生管理向上のために検査経費の一部を補助します。

実施予定事業：家畜生産農場衛生対策事業ほか 計3事業

事業名	種別	事業内容
家畜生産農場衛生対策事業	補助	次の対策について費用の一部を補助する。 ①ヨーネ病牛の自主とう汰 ②牛白血病に係る農場の検査および吸血昆虫媒介疾病等の発生・流行防止のための資材購入 ③牛ウイルス性下痢・粘膜病に係る検査および陽性牛の自主とう汰、ワクチン接種 ④牛豚飼養農場の飼養衛生管理基準に基づいた衛生指導に必要な費用 ⑤アカバネ病ワクチン接種
群馬県経口ワクチン対策協議会運営事業	受託	豚熱(CSF)対策として野生イノシシへの経口ワクチン野外散布のための協議会運営をおこなう。
群馬県種鶏場等衛生対策事業	自主	県内種鶏場等の衛生管理向上を図ることにより、本県の養鶏振興に寄与する。

オ 家畜の衛生管理の強化

疾病の清浄化及び予防による畜産物の生産の安定を図ることを目的として、ワクチンの購入及び当協会指定獣医師による接種の推進、疾病発生時の対応等を円滑に行うための演習・研修の実施、農場HACCP認証、畜産GAPを普及するための調査・指導、野生獣の家畜に影響を及ぼす疾病の保有状況等についての調査、豚疾病防止のための獣医師による巡回指導、馬の飼養者等への衛生管理に関する調査・講習会、ハチミツの安全性確保のための検査等について支援します。

実施予定事業：生産振興対策事業（優良はちみつ生産）ほか 計12事業

事業名	種別	事業内容
生産振興対策事業(優良はちみつ生産)	補助	ハチミツの品質検査に必要な経費の一部を補助する。
家畜防疫・衛生指導対策事業	助成	旧自衛防疫体制強化推進事業と旧農場HACCP取組体制緊急強化事業の合体新事業。防疫演習、白血病対策、マイコプラズマ乳房炎対策、馬伝染性貧血対策を実施するとともに農場HACCPの推進を図る。
馬飼養衛生管理特別対策事業	助成	競走馬以外の馬の飼養衛生管理等についてのアンケート調査、講習会、実習を実施する。
馬伝染性疾病防疫推進対策事業	助成	乗用馬等の馬インフルエンザワクチンおよび馬鼻肺炎ワクチン接種の推進を行う。
育成馬等予防接種推進事業	助成	生産地における競走馬防疫体制を推進することにより、競走馬資源の涵養と競走馬生産の安定的維持・発展を図る。
予防注射推進強化対策事業	助成	自衛防事業の効率的な推進及び予防注射接種率向上のための普及啓発を行う。
地域豚疾病緊急対策推進事業	受託	養豚生産農場において生産性を阻害する要因となっている疾病を特定し、地域一体となった飼養衛生管理基準に基づいた疾病の発生低減・清浄化を図るため、指導獣医師による農場指導および検査の推進を実施する。本県はPRRSを標的疾患として定めている。 今年度から、群馬県事業との協調を図り、疾病対策を推進する。
畜産GAP拡大推進加速化事業	受託	畜産GAPの普及を図るため、指導員研修会、講習会の開催、認証に取組む農場の構築指導を実施する。
野生獣衛生体制整備推進確立対策事業	受託	野生獣に家畜伝染病がまん延した場合の連絡等のプラットホームの構築を図る。狩猟者、猟友会、関係機関との連携のもとにイノシシ、シカの衛生検査を実施し、結果を検討する。
農場飼養衛生管理強化推進事業	自主	国補助事業・農場飼養衛生管理強化対策事業に該当しない農場指導に限り補助を行う。
家畜衛生推進事業	自主	予防注射に必要な資材の購入、注射に要した費用の支払い等の事務を実施する。
家畜衛生推進事業(公共牧場)	自主	公共牧場で実施する予防注射に必要な資材の購入、注射に要した費用の支払い等の事務を実施する。

(4) 家畜の能力向上を促進する事業

家畜の生産能力は、その個体が持って生まれた性質（遺伝）と飼養される環境条件によって影響を受けることから、家畜が快適に生活できる場を整えるとともに、飼養している家畜の平均能力を遺伝的に引き上げる必要があります。そのため当協会は、家畜の遺伝的な能力と大きな関連がある体型等を中心とした評価に技術と経験を持った職員を配置し、県域を対象とした家畜共進会の開催及び地域における家畜共進会への開催支援、能力の高い種畜の導入経費に対する補助、能力向上に必要な家畜の体型や産肉能力データの収集等を実施します。

実施予定事業：肉用牛経営安定対策補完事業ほか計20事業

事業名	種別	事業内容
肉用牛経営安定対策補完事業	補助	要件を満たす繁殖雌牛を増頭した場合に、増頭実績に応じて奨励金を交付する。
生産振興対策事業(家畜登録促進)	補助	家畜の血統整理や登録・登記を推進するため、有資格者の養成、研修会等への派遣を実施する。
生産振興対策事業(乳牛等改良促進)[乳牛]	補助	群馬県乳牛共進会を開催するなど、県内乳牛の改良を促進して振興を図る。
生産振興対策事業(乳牛等改良促進)[繁殖和牛]	補助	群馬県繁殖和牛共進会を開催するなど、県内肉用牛の改良を促進して振興を図る。
生産振興対策事業(乳牛等改良促進)[肉豚]	補助	群馬県肉豚共進会を開催するなど、県内養豚の改良を促進して振興を図る。
生産振興対策事業(乳牛等改良促進)[山羊]	補助	群馬県山羊共進会を開催するなど、県内山羊・めん羊の改良を促進して振興を図る。
生産振興対策事業(全日本ホルスタイン共進会出品対策)	補助	本県からの全日本ホルスタイン共進会への出品を図り、もって乳牛の改良、振興を図る。
生産振興対策事業(全国和牛能力共進会出品対策)	補助	第12回全国和牛能力共進会における上位入賞を果たすための出品対策を実施する。
和牛全共出品対策事業	特別	第12回全国和牛能力共進会の出品対策のための調査、指導を実施する。
家畜共進会運営強化推進事業	特別	地域で行う家畜共進会の実施に必要な費用の一部を助成する。
育種価評価活用促進事業	特別	県内で肥育された肉牛の産肉データ6形質を収集して育種価を解析し、広く公表することにより県内産肉牛の能力向上を図る。更にその結果を解説する研修会を開催する。

事業名	種別	事業内容
ゲノミック評価活用推進事業	特別	ゲノミック評価を活用し、早期に繁殖雌牛候補の能力を把握し、雌牛の選抜や保留の判断材料の一つとすることで、着実に高能力雌牛を県内に保留できるため、ゲノミック評価申込み雌牛に対し助成する。
和牛高等登録推進事業	特別	和牛の高等登録受審を推進し、和牛改良の促進を図る。
肉用牛産肉能力平準化促進事業	受託	肉用牛の調整交配及びその結果の調査とりまとめを実施する。
乳牛生産活用支援事業	自主	乳牛の生産振興及び活用支援のため、県内乳牛生産者を対象として開催する共進会等を支援する。
和牛生産活用支援事業	自主	和牛の生産振興及び活用支援のため、県内和牛生産者を対象として開催する共進会等を支援する。
肉豚生産活用支援事業	自主	肉豚の生産振興及び活用支援のため、県内養豚生産者を対象として開催する共進会等を支援する。
山羊生産活用推進事業	自主	日本ザーネン種山羊の普及、活用を推進するための情報交換会を開催する。
農林水産祭参加事業	自主	本会が開催する乳牛共進会、並びに繁殖和牛共進会について、農林水産祭に参加する。
家畜共進会褒賞交付事業	自主	地区及び地域で実施する畜産共進会の予選会上位入賞者に対し、褒賞を授与する。

【収益事業1】 畜産に関する収益事業

(1) 家畜登録団体からの業務受託に関する事業

家畜の血統登録を行う団体から業務の一部を受託し、畜種ごとに定められた登録規程等に基づき、登録申し込みのあった家畜の個体の確認、体型・特徴の記録、DNA検査のための試料の採取、血統の確認、登録手続、登録料の代行収受、登録証の送付等の業務を行います。

実施予定事業：家畜登録事業（4畜種） 計6事業

事業名	種別	事業内容
家畜登録事業	登録	登録申し込みのあった家畜（乳牛、肉牛、豚、山羊）の個体の確認、体型・特徴の記録、DNA検査のための試料の採取、血統の確認、登録手続、登録料の代行収受、登録証の送付等の事務を実施する。 (4畜種、6事業) ①乳牛・ホルスタイン ②乳牛・ジャージー ③和牛 ④和牛・家畜改良事業団 ⑤種豚 ⑥山羊・緬羊

【その他の事業1】畜産の振興を図る事業

(1) 畜産団体からの事務受託等に関する事業

畜産生産者等を構成員とする団体の事務を行います。

実施予定事業：団体事務受託（8団体） 計8事業

(2) その他事業

「廃棄物の処理と清掃に関する法律」に基づく家畜の死体処理に必要な産業廃棄物管理票（マニフェスト）の販売、畜産に関する情報提供、畜産に関する印刷物の販売等、本会が実施する事業に付随する畜産の振興を図るための事業を行います。

事業名	種別	事業内容
団体事務受託事業	団体	群馬県乳牛改良協会
		群馬県和牛改良組合連絡協議会
		群馬県養豚協会
		群馬県養鶏協会
		群馬県種鶏ふ卵協会
		群馬県養蜂協会
		群馬県家畜人工授精師協会
		群馬県畜産技術連盟

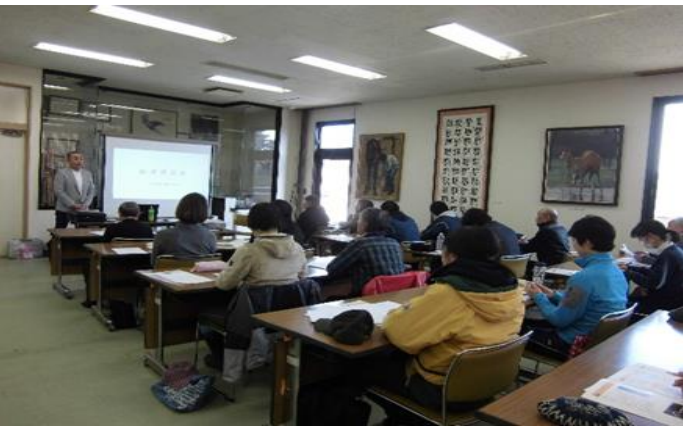
令和2年度収支予算

令和2年度においては、補助事業22、助成事業6、特別事業6、受託事業18、家畜登録事業6、事務受託事業9、自主事業25の計92事業を実施し、経常収益641,618千円、経常費用650,470千円、経常外収支、法人税、事業税を含めた当期一般正味財産増減額は9,751千円の減少を見込みます。これは平成31年度予算と比べて、経常収益1,033,749千円の減少、経常費用1,022,513千円の減少となります。その主な理由はアフリカ豚コレラ侵入防止緊急支援事業の終了と牛マルキンにおける交付金について、今年度の補てん金の交付実績を勘案し、減額したことによるものです。



馬飼養衛生基礎技術実習を開催しました

馬飼養衛生管理技術の向上を図るため、令和2年1月22日（水）に馬飼養衛生基礎技術実習を開催しました。昨年に引き続き、県外の馬飼養者および関係者の方にもご案内したところ、県内外から多くの方がご参加くださいました。まず初めに9月に鹿児島大学で開催された馬臨床実習に参加されたカール動物病院の永島進先生による伝達講習会を行いました。その実習で学んだことや起こりやすい疾病についての対処方法等を分かりやすく説明していただきました。質問も多く出ておりとても有意義な講習会となりました。その後、馬を用いた実習が行われました。金井競走馬診療所の金井先生、小林獣医科医院の小林先生、伝達講習会でもお世話になった永島先生、かなやま動物病院の毒島先生、以上4名の先生方に講師をしていただき、馬の基本的な扱い方、骨格や筋肉等、馬の基礎知識について各々の先生方に説明していただき、参加者は班に分かれ、それぞれの先生方をローテーションしながら実習に臨みました。都度質問をしつつ、直接馬に触れながら教わることで、より理解を深めることができたと思いました。



家畜防疫・衛生指導対策事業にかかる海外の認証制度活用状況調査

日本で農場 HACCP 認証農場が増加する中、今後の的確で効率的な認証実施の継続に資するため、欧州の畜産に関連する認証スキームにおける衛生管理、抗菌性物質管理、各種データ集積及び動物福祉関連項目などの現状について調査するため、令和2年2月8日～16日の9日間、オーストリア共和国及びスイス連邦において、公益社団法人中央畜産会が実施した標記調査へ参加しました。

オーストリア共和国では、AMA (Agrarmarkt Austria Marketing GesmbH: 認証機関、オーストリア農産物マーケティングの食品品質保証を管理運営) に酪農及び養豚の生産状況に関する認証及びマークの使用管理を含む認証業務の概要・問題点等について聞き取り調査を行い、その管理下の養豚農家にて現地調査を実施し、情報を収集しました。また、大規模スーパーで認証マークの貼付状況を視察しました。

スイス連邦においては、スイス農民連盟の子会社である Agriquali 社でスイス農業の概要や QM スイス (Quality Management) について説明を受けたのち、スイス農民連盟傘下の酪農家と、スイスでは珍しい株式会社として養豚 (肥育専門) および酪農を営んでいる農家にて現地調査を実施しました。次いで、スイス食料安全局にて、スイス農業の概要、食品安全・動物保護・動物の健康・動物の薬品の管理システムなどの現状を調査し、こちらのスーパーでも認証マークの貼付状況を視察しました。

両国に共通して健康志向や菜食主義者の増加等の理由から肉類の消費量が減少傾向にある他、消費者がアニマルウェルフェアへの配慮や遺伝子組み換えでない飼料の給与を求める傾向にありました。

どちらの国においても認証取得率は高く、その理由として認証農場からは出荷先が高値で買い取るため経済的なメリットを見込んで取得する、出荷先が認証農場以外を受け入れない等がありました。

オーストリア共和国の AMA によれば、現在普及している認証に加え、アニマルウェルフェアも含めた認証があるが、そちらは生産コストに見合うだけのメリットが見込めないことが多く、取得農家は少ないとのことでした。

日本においても経済的なメリット等があれば認証の普及は格段に進むと思われますが、アニマルウェルフェアに配慮して放牧等も求めるようになると難しいのではないかと思います。(家畜衛生部 今井健太)



アニマルウェルフェアに配慮した運動場(オーストリア)



オーストリアの AMA 認証マークをつけた卵



群飼養のためのカーフハッチ (スイス)

調教研修報告会を実施しました

全共出品にあたり、かねてから本県の課題となっていた「県内に調教指導者を育てること」の実現に向け、今年初めて実施した九州方面への調教研修の報告会を、令和2年1月31日に畜産試験場において実施しました。

当日は県内各関係団体、生産者など約50名の参加があり、研修に参加した若手農家3名及び運営委員会事務局2名から、研修報告がなされました。本県に多数の調教指導者を輩出すべく、研修は毎年継続して実施する予定です。



宮崎流手入れ実技その1「蒸しタオル」
70℃の湯で蒸したタオルを取り替えながら、30～40

その2「ブラッシング」
スピーディーに体の左右から10分間ブラッシング



畜産海外事情研修（EU3か国）に参加して

企画管理部 加藤康義

◆はじめに

まず、本研修への参加の機会を与えていただいた、地方競馬全国協会、中央畜産会に感謝申し上げます。

今、この時代にあって、外国の様子はインターネットでも、テレビでも、手に取るように分かる時代だと思っていましたが、実際に、現地で指導機関や生産者、現地コーディネーターから様々な話を伺い、各国の生活感や風土、食事、消費者の志向、生産者の苦勞、国の考え方、畜産の置かれている現状に直接触れられたことで、インターネットやテレビではわからなかったEU諸国の畜産事情を五感で感じ実情を知ることができました。

そしてEU諸国の状況の理解が深まったことにより、今後、日本畜産が直面するのである課題がより一層はっきり見えてきた研修となりました。ここで少しご紹介します。

◆バスに揺られて3000キロ

9月22日からの15日間、成田からフィンランドのヘルシンキ空港を経由し、スイスのチューリッヒ空港に到着したところからこの研修がスタートしました。

チューリッヒ空港では、20人乗りほどの中型のバスが一台。次に飛行機に乗るのは、最終日にオランダ アムステルダム空港から帰国する時。このバスで、スイス、オーストリア、ドイツ、オランダと中央ヨーロッパを南から北へ4か国をバスで移動する研修となりました。





北海道、茨城、群馬、神奈川、兵庫、和歌山、岡山、熊本、大分、宮崎の各道県から1名と、中央畜産会から2名を加えた12名でした。



◆各国で研修した主な内容

◆EUは巨大な国

EU（欧州連合）は、私たちが訪れたときは28か国、5億1237万人からなる巨大経済圏でした。日本の約4倍の人口を有しています。最も人口が多いのは、ドイツの約8200万人、次いで、すでにEUから離脱したイギリスの6600万人、以下、フランス、イタリア、スペインへと続く・・・

研修国	研修要素	
オーストリア 09/23	伝統的三段酪農 生乳チーズ	有機認証 アニマルウェルフェア
ドイツ 09/24～30	教育研究 コンサルティング 山羊チーズ 6次化 マシネーリング（生産サポート） 伝統的品種を用いた地域振興 消費者理解	
オランダ 10/01～04	フリーディングサービス 食肉加工（豚） GAP認証（豚） ICT	

オーストリアでは、山岳地帯の気候差を活用した、伝統的な三段酪農と、酪農家が数戸から数十戸集まり生産した生乳からチーズを作り、景観保護により観光化した山岳農村を訪問する都市住民に対し、この生乳チーズを販売している現場を視察。

ドイツでは、試験研究機関の教育システムや経営コンサルなどの人に対する支援と、日本より進んだ6次化の現状、伝統畜種による地域振興を図った事例などを視察。

オランダでは、食肉加工の現場と、飼養管理データベースを用いた適正農業（実施）規範＝GAP認証（IKB認証）の仕組みや、最新の酪農機械の導入状況や今後ICTを活用した酪農経営のデモンストレーション農場を視察。

共通要素としては、有機認証（BIO認証）とアニマルウェルフェアです。どんな研修場所にあっても常に話題となり、EU圏における畜産業にあっては、切っても切ることができない重要な要素であることを研修しました。（次回へつづく）



EU内では、統一通貨ユーロでモノを買うことができ、3か国において体感的な通貨価値や物価はさほど変わりません。アウトバーンや一般道路を走っていても、入国審査を行うような国境はどこにも見当たりません。

文化や言葉、慣習は違いますが、ヒト、カネ、モノが自由に行き交う巨大な国で、到底、日本では感じるができない不思議な感覚でした

イベント情報

新型コロナウイルスの影響を鑑み、2～3月に予定していた各種の研修会・会議等は中止になりました。

価格安定事業の状況

■肉用子牛生産者補給金制度 補給金交付状況

区分				交付単価(円)					交付頭数(頭)					交付額(円)					交付戸数(戸)				
業対	年次	月次	期別	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑	黒毛	褐毛	他肉	乳用	交雑
6	1	1～3	第4四半期	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		4～6	第1四半期	0	0	33,200	0	0	0	0	2	0	0	0	0	66,400	0	0	0	0	2	0	0
		7～9	第2四半期	0	0	56,600	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		10～12	第3四半期	0	0	25,900	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計							0	0	2	0	0	0	0	66,400	0	0	0	0	2	0	0

■肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）補填金交付状況

期間	品種区分	支払区分	交付対象		交付金単価 (頭/円)	交付金の額 (円) (4/4)	交付日
			人数 (人)	頭数 (頭)			
10月	肉専用種	概算払				0	12月25日 2月26日
		精算払				0	
	交雑種	概算払	93	1,031	11,271.2	11,620,567	
		精算払			4,000.0	4,124,000	
	乳用種	概算払	9	137	44,722.4	6,126,965	
		精算払			4,000.0	548,000	
11月	肉専用種	概算払					1月29日 2月26日
		精算払					
	交雑種	概算払	104	1,154	356.4	411,243	
		精算払					
	乳用種	概算払	10	123	49,726.4	6,116,342	
		精算払			4,000.0	492,000	
12月	肉専用種	概算払					2月26日
		精算払					
	交雑種	概算払					
		精算払					
	乳用種	概算払	7	115			
		精算払			63,042.3	7,249,861	

■肉豚経営安定交付金制度（豚マルキン）

■内訳経費交付金制度（豚、牛、羊）									
年次	月次			期別	補填金交付				
					単価(円)	頭数(頭)	総額(円)	戸数(戸)	
1			4 ～ 6	第1四半期	概算	0	0	0	0
				確定	0	0	0	0	
			7 ～ 9	第2四半期(第1含む)	概算	0	0	0	0
				確定	0	0	0	0	
			10 ～ 12	第3四半期(第1～2含む)	概算	0	0	0	0
				確定	0	0	0	0	
計									

みんなで行こう！ケイバ！ 南関東4競馬場開催日程

◆BAOO高崎

群馬県高崎市岩押町 12 - 23

お問合せ：027-322-5192



◆オフト伊勢崎

群馬県伊勢崎市宮子町 3074

伊勢崎オートレース場

グリーンスタンド4階・5階

お問合せ：0270-23-0535

**地方競馬の収益金は
畜産の振興に役立っています**

オートレース場内のモニターで
ゆったりと競馬を楽しめます

地方競馬 場外発売日程

※新型コロナウイルスの影響で開催していない事もあります。直接ご確認ください。

2020年 4月																													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
 船橋	 船橋 Jpn III	 船橋			 大井	 大井 S III	 大井 Jpn III	 大井	 大井			 川崎	 川崎	 川崎 S III	 川崎	 川崎			 浦和	 浦和	 浦和 S III	 浦和	 浦和			 大井	 大井 SI	 大井 SI	 大井

2020年 5月																															
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
 大井	 大井		船橋	船橋	船橋	 船橋	 船橋			 川崎	 川崎	 川崎	 川崎	 川崎			 大井	 大井	 大井	 大井	 大井			 浦和	 浦和	 浦和	 浦和	 浦和			
			Jpn I	S II							S III							S I							Jpn II						

2020年 6月																													
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
																													
大井	大井	大井	大井	大井			川崎	川崎	川崎	川崎	川崎			船橋	船橋	船橋	船橋	船橋			大井	大井	大井	大井	大井		浦和	浦和	
		SI							Jpn II							S III						S II	Jpn I						

詳しくは南関東4競馬サイト：<http://www.nankankeiba.com/index.html> をご覧ください。